

高信頼性ICタグ

端末を使いこなす

iPadも最初はカメラがなかったのですが、現場にiPadを使おうとするとカメラのないことの不便性に気がついたのでしょうか、今はカメラ付きになっています。iPhoneも今は表、裏の2種のカメラがあります。

端末もシンプルがよいとは言え、機能的にもアップしていきます。この便利な端末をどんどん装置保守管理現場に使おうとする動きが急速に高まっています。

RFIDシステムのように複雑なシステムでは、端末、サーバ、アプリソフトの充実と、小型リーダと信頼性のよいICタグが必要とされます。

端末は人間と接する重要なデバイスですので、軽く、薄いことが作業者の負担をかけずに使える重要なファクターとなります。かつての重い、厚い端末からの解放、クラウドシステムにより、セキュリティと、端末ダメージによるデータ損傷からの解放が合わせて行われていきます。

アプリソフトの充実により、迅速で、正確な装置保守管理を安全に行うことができます。プラントという基幹産業をしっかりと、端末とICタグで押さえることはこれからますます重要になっていくものと思います。